

## 滝沢ニュータウン自治会

### 全世代が楽しめる行事

シビックセンターで行う夏祭りは毎年 300 人以上が集い、年代関係なく盛り上がる一大イベント。屋台がたくさん並び、抽選会や靴飛ばし大会、餅まき、鶺鴒保育園児・ふじなでしこ園児による踊りや滝沢ニュータウンさんさ踊りの会によるステージショーのほか、自衛隊音楽隊の演奏と子どもたちの楽器体験なども行われる。

12 月に行われる美術展は自治会内の様々な才能に気付く機会。地域には「山の幸染め」の講師をしている方もおり、鶺鴒小学校でも授業を行っている。美術展では児童が授業で挑戦した山の幸染めの作品も展示された。



(上) 滝沢ニュータウン夏まつり  
(下) 美術展で山の幸染めを展示

### 防災訓練

防災訓練は年 1 回行っている。滝沢ニュータウ

ン自治会は災害の少ない地域。安全と思う一方、つい気が緩んでしまう。地域の皆さんの防災意識向上のため、コロナ禍でも感染対策を徹底しながら防災訓練は欠かさず行う。ありきたりな訓練では実用的でないと考え、地域で起こりうる災害とは何か考えながら訓練の内容も考える。地震や火事だけでなく、旅行先で災害が起きたとき、人が倒れたときに助けられるような訓練も行っていきたい。また、毛布や担架、発電機等、防災用品の整備も行ってきた。定期的にメンテナンスをし、いつ起こるかわからない災害に即座に対応できるよう備えている。



シビックセンターで行われた防災訓練

### 交流のための助成金

災害等の有事に備えるためにも地域のコミュニケーション強化が大事だと考えている。滝沢ニュータウン自治会では、各工区内の身近な会合や交流活動を応援するための助成金制度を設けている。花見や工区ごとの小さな集まりでの茶菓子代などに活用されている。自治会員全員の顔を覚えるのは難しい。まずは工区ごと、班ごと、近隣住民等、井戸端会議のような小さな輪で交流を持ち、ご近所の人を知っていくことに力を入れている。地域のお酒を楽しむ会は、「馬芋ん」や「鞍掛山」など地元の特産品を応援しようと企画されたもの。鶺鴒商工振興会の協力もあり、お酒に合う地場産品を持ち寄って 40～50 人程のお酒好き・食べ物好きが集まった。